



万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japan Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科学教室
TEL: 03-5363-3802 FAX: 03-3355-4707
発行者：今野弘之
編集責任：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部事務局長
和田則仁 (慶應義塾大学医学部外科学教室)
印刷：株式会社 dig TEL: 03-3551-3060
年 2 回発行 1995 年 4 月創刊

WELCOME MESSAGE

49th World Congress of the International Society of Surgery

President, ISS/SIC

John G Hunter



What a year it's been!

First there was a worldwide pandemic, then there were a variety of problems resulting from the pandemic including a global recession, a reckoning around race and the impact of Covid -19 on disadvantaged populations, including a renewed focus on health equity. Here, in the western United States, we added historic wildfires to our list of crises.

Of these many crises, the Covid-19, pandemic has overshadowed all. There have been many victims of the pandemic in almost every country in the world. There is no doubt that some countries have handled it better than others, including Japan. Unfortunately, my country, the United States, was the worst in our ability to control this lethal virus, contributing 20% of the world's total cases and deaths.

As a result of the pandemic, all travel related to the ISS/SIC has been cancelled. We have had several executive committee meetings through a Zoom platform which has worked out very well for communication, with the exception of time zone issues. For East Asia and the western part of the US, we find ourselves in conference very early in the morning and very late at night. This seems a reasonable trade off, as it improves safety and saves lots of money and time spent in international travel.

After a great deal of discussion at our last executive committee conference call, in discussion with our Congress hosts in Kuala Lumpur, we have reluctantly made the decision to postpone the World Congress of Surgery for one year. Instead of meeting at the end of August in 2021, the World Congress of Surgery in Malaysia will occur in the same timeframe in 2022.

This decision was made as a result of great concern that there would be uncertainty about global availability of an effective vaccine, travel restrictions, and general fear for meeting attendees. When all these uncertainties were added up and wrapped together, it was felt prudent by our Congress organizers and our leadership to postpone the Congress rather than take risks

with the safety of the participants or the likelihood that attendance would be low.

We are grateful for the participation of the Japanese chapter of the ISS/SIC. Our Japanese colleagues are frequently the largest group to attend a World Congress, and we look forward to joining with you in 2022. Without a world congress in Malaysia next August, what will we do in 2021?

Many of our integrated societies have demonstrated a great deal of innovation in putting program content up online, including virtual congresses, seminars, tumor boards, roundtable discussions, and a variety of other types of learning activities. I've participated in several virtual congresses. It is remarkable how effective they are in sharing images and dialogue.

In the next year please look for programs from the IAES (endocrine) the ISDS (GI surgery) and IATSIC (trauma, ICU, and acute care surgery). Our other integrated societies and the ISS/SIC as a whole will also be sponsoring virtual content for our members. While we are very disappointed that we will not be meeting in person in 2021, the opportunity for enhanced video learning should push the ISS in new directions. Hang on!

In closing, I would like to wish all my Japanese colleagues a wonderful holiday season. My wife Laura and I were with many of you in Yokohama at the JSES meeting a year ago. While it seems almost a lifetime ago, given the pandemic, I remember well what a lovely Congress that was, and a great opportunity for me to get back together with so many of my Japanese friends. I trust you will be careful, stay healthy, and continue to support the Japanese chapter of the ISS/SIC and the integrated societies. Kanpai!

John G Hunter

MD FACS FRCS Edin(hon)

President, ISS/SIC

Portland, Oregon, USA



クアラルンプール ペトロナス・ツインタワー

国際内分泌外科学会 (IAES) からの報告

医療法人 神甲会 隈病院 院長
President, IAES
宮内 昭



国際内分泌外科学会 International Association of Endocrine Surgeons (IAES) は 1979 年に創設された歴史のある専門的な内分泌外科医の学会であり、万国外科学会 (ISS/SIC) を構成する主要な学会の一つです。この学会をお手本として、東京女子医科大学内分泌外科の故藤本吉秀教授の発案で、1988 年にアジアオセアニア地区を対象としてアジア内分泌外科学会が、1989 年には日本内分泌外科学会が創設されました。これらは IAES の姉妹学会であると言えます。第 17 回アジア内分泌外科学会は本年 3 月 5 日～7 日にオーストラリア、メルボルンで President Julie Miller の元で開催されました。この頃から新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が中国武漢から各国に広がり始め、感染が早く広がり始めたアジアの国々からは多くの参加予定者が出席できませんでした。しかし、主要な講演は、Web での live 発信も行なわれ、学会そのものは盛会であり無事に終わりました。宮内は 2 期 8 年間務めた Chairman をマレーシアの Hisham 教授に譲り、次期 President は東京女子医科大学の岡本教授となりました（写真 1）。Hisham 教授（写真 2）は 2021 年にクアラルンプールで開催される予定の 49th World Congress of Surgery の Local Organizing Committee の chief であり、誠に好ましい人選でした。ところが、この学会以降に COVID-19 が急速に世界的に広がり、国内外の多くの学会が中止、延期、もしくは Web 開催となりました。

このような状況を受け、IAES は 7 月 30 日に Web Council Meeting を開き、参加者の安全を考えると WCS 2021-Kuala Lumpur に身体的に参加することは困難である、予定どおりの開催であれば Web でのみの参加となると ISS Office に伝えることになりました。その後も COVID-19 は世界的には収まる傾向がなく、ISS Office は WCS の開催を 1 年延期することを決定

いたしました。

IAES では以前から Secretary Treasurer Pasioka 教授と UCSF の Duh 教授（写真 2,3）を中心とする有志が若手の内分泌外科を志す医師を対象に世界各地で IAES Postgraduate Course を開催してきました。今年は 5 月に第 19 回の講習会がシンガポールで開催される予定でしたが、やはりコロナ感染症のため延期となり、結局、11 月 21 日～22 日に Web での開催となりました。2 日間で 24 のトピックスの講演と 4 つの興味ある症例のセッションが計画されています。この卒後研修コースの詳細は近日中に IAES や日本内分泌外科学会のホームページなどで公開されるでしょう。今回は、シンガポールを発信元として、アジアの先生達を念頭に準備しているので、講演時刻については日本との時差はわずか 1 時間です。内分泌外科に興味がある先生達の積極的な参加を期待しています。



写真 1 左から次期 President 岡本教授の代理としてメダルと旗を受け取る日本医大の杉谷教授、新 Chairman Hisham 教授の代理としてメダルと受け取る Imi Sairi 教授、President Miller 教授、Chairman を終えた宮内。



写真 2 左端が Hisham 教授、右端が Duh 教授



写真 3 IAES Secretary Treasurer Pasioka 教授と。

万国外科学会の思い出

静岡県立静岡がんセンター
副院長 胃外科
寺島 雅典



この度、万国外科学会の思い出を寄稿して欲しいと依頼されましたので、いろいろと昔の事を思い出してみました。私が初めて万国外科学会に参加したのは 1987 年のシドニーでの学会でした。先輩から突然万国外科学会に行くぞと言われて、万国びっくりショーみたいな変な名前の学会だなど思いつつもなんとか演題を出して、オーストラリアに行きました。なんとか口演演題に採択して頂きましたが、発表はなんとなかったものの、英語力が乏しいためディスカッションはボロボロでした。座長の先生が昼にワインを飲んでいたので真っ赤な顔をしていましたが、その酔っ払いに小馬鹿にされたのが非常に悔しい思い出として残っております。この経験が、その後少しばかりは英語で発表、討論できるようになりたいというモチベーションに繋がったのかもしれません。当時は国際学会というと 1 週間以上のお休みを頂けて、学会の後には観光してくるというのが定番でした。多分に漏れず、先輩が手配してくれたツアーにご一緒させて頂いて、シドニーからニュージーランドに渡り、クライストチャーチ、ロトルア、オークランドを回って帰ってきました。外科医に休みなど無い時代でしたので、貴重な休暇だったのと、シドニーやニュージーランドの綺麗な景色に魅了されて、学会のいやな思い出が癒やされたのを今でも覚えております。その後も万国外科学会には、1989 年のトロント、1993 年の香港に参加させて頂

きました。その後暫くはお休みしておりましたが、2010 年に国立がん研究センターの片井先生から World Journal of Surgery (WJS) の Editorial Board にご推薦頂いたのを機に、ISS/SIC に入会させて頂きなるべく学会にも参加するようにしておりました。学会では必ず Editorial Board Meeting と Dinner がありますので、世界中の高名な Board Member と会食できるのは一つの楽しみになっております。写真は 2017 年にスイスのバーゼルで開催された WCS の際の Editorial Board Member Dinner の様子です。この年に Editor in Chief (EIC) の交代があり、右が旧 EIC の Prof. John Hunter で、左が新 EIC の Prof. Julie A. Sosa です。Prof. Hunter は 2004 年から WJS の EIC を務められておりました。私が初めてお会いしたのは 2011 年の横浜の会でしたが、とても気さくであると同時に見識が深く、強いリーダーシップを持った先生でした。2021 年のクアラルンプールでの学会は残念ながら 2022 年に延期になりましたが、Prof. Hunter が会長を務められるので、是非参加したいと思っております。

万国外科学会は若手の登竜門としてはまさにうってつけの学会だと思います。今は学会の後に観光はできませんが、学会とその後の会食だけでも十分に異国情緒を楽しめますので、是非多くの若手の先生のご参加を期待したいと思います。



ISDS Vice President を拝命して

東京医科歯科大学大学院
肝胆膵外科学分野 教授
Vice President, ISDS

田邊 稔



私が WCS/ISW に初めて参加したのは 2011 年、渡邊昌彦先生が LOC 会長として主催された ISW 2011 YOKOHAMA でした。同年 3 月、未曾有の震災と津波被害に見舞われ、開催そのものが危ぶまれましたが、渡邊 LOC 会長や組織員会の皆様の大変なご努力により不死鳥のごとく見事に復活し、大変充実し華やかな会が開催されました。私は一参加者として、日本の存在感が世界に向けて強く示されたことを誇りに思うとともに、主催された皆様の大変なご努力に敬服したことを覚えております。その後時を経て 2017 年、今野弘之先生が ISDS 会長にご就任され、ポーランド・クラクフにおいて次期 WCS2019 を主催することになりました。同時に、北島先生のご推薦により私が Councilor としてご指名をいただき、会の運営に関わることになりました。それまでは一参加者として「お上りさん」的に会を楽しんできたのでやや不安でしたが、北島先生から「国際経験を積みなさい、何事も経験だ」とのお言葉をいただき、有り難くお引き受けした次第です。

学会役員として参加したクラクフの WCS2019 は、これまでと一味違う大変中身の濃いものでした。President Elect の Fichera 先生を中心に、事前にセッションの構成を考え、大会期間中は発表や司会ばかりでなく、関係する皆様と食事や会話を楽しむ機会が連日のようにあり、学術的にも社会的にも多くの経験を積むことができました。このような機会を与えてくださった北島先生が WCS2019 の前に急逝されたことは、私にとって痛恨の極みでありました。大会期間中、壇上の各国の関係者から「偉大なりー

ダーを失った悲しみの弁」が何度も述べられたことは、北島先生が ISS/SIC にとっていかに大きな存在であったかを示すものでした。

このクラクフにおいて、今野先生の後任として Fichera 先生が ISDS 会長にご就任され、同時に私は馬場秀夫先生とともに副会長のご指名をいただきました。私の役割は、次回マレーシアで開催される WCS/ISW の運営をサポートするとともに、ISDS の会員を増やすことです。国を隔てて会員数を増やすことは容易なことではありませんが、まずは ISDS の概要、次期マレーシアの WCS/ISW を紹介するパンフレットや宣伝用のスライド（図）を作り、各国役員の皆様に使用していただくことから始めました。ISDS における日本のプレゼンスを確固たるものにするためにも、このニューズレターをお読みいただく日本の皆様に入会をお願いする次第です。次回 2021 年にマレーシア・クアラルンプールで開催予定の WCS/ISW は、コロナ禍のため 2022 年 8 月 28 日か～9 月 1 日に延期されました。パンデミックを克服し、皆様とともにマレーシアの夏をエンジョイできることを願っております。

Join ISDS today!

Alessandro Fichera, MD, FACS, FASCRS
President of ISDS

The International Society for Digestive Surgery (ISDS) provides its members so many benefits.

1. Exclusive meeting benefits; Considerable discounts on registration fee for the World's Congress of Surgery
2. Subscription and exclusive benefits to publications. World Journal of Surgery, Annals of Surgical Oncology, ... etc.
3. And more benefits.... Please visit our website. <https://www.cicd-isds.org/membership>.

International conference of ISDS is held every other year.
International Surgical Week 2021 - the World's Congress of Surgery - the 49th Congress of the International Society of Surgery (ISS/SIC) will be held in Kuala Lumpur, Malaysia August 29 to September 2, 2021.

To be a member of ISDS, you should be a member of ISS-ISC and choose subspecialty of ISDS with additional 25 USD.

International Surgical Week
The World's Congress of Surgery
isw2021.org
<https://www.cicd-isds.org/membership>

International Surgical Week (ISW) 2022 2022 年 8 月 28 日 - 9 月 1 日 Kuala Lumpur

ご案内

2022 年 8 月 28 日(日)～9 月 1 日(木)の 5 日間、マレーシアのクアラルンプールにおきまして、International Surgical Week (ISW)2022 が開催されます。日本の皆様の多数のご参加を心よりお待ち申し上げます。

※2021 年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い延期が決定いたしました。

～クアラルンプール～

地元では「KL（ケーエル）」の愛称で親しまれる首都・クアラルンプール。

旧クアラルンプール駅を中心に広がる英国統治時代の美しい建築物とペトロナスツインタワーをはじめとする近代建築と自然が見事に調和された美しい都市です。市内は交通機関が充実しており、主な観光スポットへは公共交通機関でアクセスが可能です。



主な日程(予定) 学術集会 8 月 28 日～9 月 1 日

8 月 28 日(日) 17:00 オープニングセレモニー・レセプション
20:00 Japan Night (日本人参加者懇親会)

8 月 29 日(月) 8:00 Travel Scholars 紹介
19:00 Kuala Lumpur Night (全体懇親会)

8 月 30 日(火) 19:00 ISDS, IAES, IATSIC, BSI, ASAP, IASMEN 各学会夕食会

8 月 31 日 (水)12:15 ISS/SIC 総会

演題登録締め切り 2022 年 1 月 28 日 (金)

日本支部のウェブサイトにも随時情報を掲載します。 <http://wss-jp.org/>

Yokohama Award

5 名程度 Award 一人当たり 10 万円

ISS/SIC 日本支部は、日本からの若手外科医の WCS の参加を支援しています。
応募条件は、応募時点で 40 歳以下の日本人外科医で、①ISW2022 クアラルンプールに Oral の演題を提出、かつ②ISS/SIC 日本支部会員からの推薦があること、です。

詳細は日本支部のウェブサイトを参照ください <http://www.wss-jp.org/>

International Surgical Week
The World's Congress of Surgery
isw2022.org

Kuala Lumpur, Malaysia
28 August - 1 September 2022
49th World Congress of the International Society of Surgery (ISS/SIC)

Jointly organized with the 48th Congress of the College of Surgeons Academy of Medicine Malaysia (CSAMM)

SAVE THE DATE!
#ISW2022 | isw2022.org
Abstract Deadline.
28 January 2022
(no extension)

International Society of Surgery / Société Internationale de Chirurgie (ISS/SIC) and its Integrated Societies:
IAES - International Association of Endocrine Surgeons
IATSIC - International Association for Trauma Surgery and Intensive Care
IASMEN - International Association for Surgical Metabolism and Nutrition
BSI - Breast Surgery International
ISDS - International Society for Digestive Surgery
ASAP - Alliance for Surgery and Anesthesia Presence

プロトンポンプ・インヒビター
エソメプラゾールマグネシウム水和物カプセル・懸濁用顆粒

ネキシウム® カプセル10mg/20mg
懸濁用顆粒分包10mg/20mg

薬価基準収載 処方箋医薬品^{注1}
注1) 注意一医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売元(文献請求先及び問い合わせ先を含む)
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

製造販売元(資料請求先)
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号
0120-189-115
(問い合わせフリーダイヤル メディカルインフォメーションセンター)

2019年11月作成

すべての革新は患者さんのために
CHUGAI 中外製薬
Roche A member of the Roche group

at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

AVASTIN®
bevacizumab

日本標準商品分類番号 874291

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF^{注1)}ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)}

アバステン® 点滴静注用
100mg/4mL
400mg/16mL

薬価基準収載

ベバシズマブ(遺伝子組換え) 注
注1) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)
注2) 注意一医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

(資料請求先)
製造販売元 **中外製薬株式会社** 〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
ホームページで中外製薬の企業・製品情報をご覧ください。
<https://www.chugai-pharm.co.jp/>

2017年11月作成

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

株式会社ツムラ

<https://www.tsumura.co.jp/>
●資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970
【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2019年8月制作) RVCAx01-A 番

視認性と吸収性が求められる術後創へ

ロイコメドC
フィルムドレッシング

ハイドロゲルパッドが
視認性と吸水性を提供

- 創の観察を容易にする視認性
- 湿潤環境を維持するための適度な吸水性
- 固定性と肌への優しさ

THERAPIES. HAND IN HAND.

一般的名称: 救急絆創膏 / 販売名: ロイコメドC フィルムドレッシング / 医療機器届出番号: 13B1X10103000034

TERUMO
テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 www.terumo.co.jp

詳細は添付文書をご参照ください

TERUMO はテルモ株式会社の商標です。
Leukomedはビーエスエヌ・メディカル社(ドイツ)の登録商標です。
©テルモ株式会社 2016年6月

血液凝固阻止剤

アコアラン® 静注用600・1800

600国際単位、1800国際単位 / バイアル
アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え) 静注用

ACOALAN® Injection

生物由来製品 処方箋医薬品^{注1)} (注意一医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 **協和キリン株式会社** 東京都千代田区大手町1-9-2
販売元 **一般社団法人 日本血液製剤機構** 東京都港区浜松町2-4-1

2020年1月作成

[文献請求先及び問い合わせ先] 日本血液製剤機構 くすり相談室
〒105-6107 東京都港区浜松町 2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/dli/>